

休日在宅当番医の改善について



齋藤 光浩 議員

一般質問



櫻井 潤一郎 議員

魅力ある観光地づくりについて

**質問**.. 休日在宅当番医院が対応に苦慮している場合など、総合病院等との連携が必要と考えますが、本市の考えを伺います。

**答弁**.. 当地区の地域の医療体制は、比較的症状の軽い患者が対象の一次救急につきましては、かかりつけ医や休日当番医が担っています。休日当番医に重傷者や重症化が見込まれる患者が来院した場合には、二次救急

の病院への紹介や直ちに救急車で病院に搬送を行うことができ体制となっております。また、毎年「広報おおたわら」4月号

に折り込みチラシでお医者さんの適正受診ガイドを作成し、安心して救急医療を受診するための心がけとして、かかりつけ医を持つことや、できるだけ平日の日中の診療時間内に受診することなどを周知しているところ

でございます。医療体制を維持、確保するためにも、休日当番医

は便利な時間外の医療機関ではないことや、救急車の適正利用などを引き続き市民に対して分かりやすく周知をしてまいりたいと考えております。

**質問**.. 彫刻等観光資源や地域グルメ等を活用した誘客方法について伺います。

**答弁**.. 彫刻は、作者及び作品名、設置場所が記載されたガイドマップを作成し紹介しています。また、観光資源としても大変魅力があることから、今後観光パンフレットの更新や新規作成に合わせて観光スポットの一つとして掲載して参りたい。また、

地域グルメ等は、観光パンフレットやグルメガイドにまとめ、

県外イベントや観光客キャンペーン等において配布すると共に、市や観光協会のホームページ、フェイスブック等のSNSを活用してPRしています。今年度新たに大田原ブランド認定商品のパンフレットの作成も進めており、今後更なる観光産業の振興に繋げて参りたい。

**質問**.. 観光案内人の養成の進捗状況について伺います。

**答弁**.. 観光案内ボランティア団体として芭蕉の里観光ボランティア「ふるさとを知る会」が昭和54年に組織され、現在14名の会員で市内観光ガイドや会員勉強会といった活動に取り組んでおり、当会に運営費を助成し、活動支援することで案内員の養成と拡充を図っています。